

2022年度 門司港レトロイルミネーション設置等業務 仕様書

1 業務委託名称

2022年度 門司港レトロイルミネーション設置等業務

2 委託期間

契約締結日から2023年3月31日まで

3 業務内容

3-1 点灯期間開始前

- (1) イルミネーションの設置
- (2) 門司港レトロイルミネーション実行委員会所有の電飾材料等の点検並びに補修
- (3) フォトスポットの設置
※設置する電飾材料（イルミネーション等）及び造作物については、原則発注者が支給する。
- (4) 電飾材料及びフォトスポット等の設置・撤去に係る許可申請書類一式の作成・申請等の手続き
- (5) 設置及び運営に基づく電力会社との契約 ※電気料金は受注者の負担とする。
- (6) 仕様に基づくフォトスポット等及び電飾材料等の運搬、設置並びに電気工事
- (7) 設置済電飾材料及びフォトスポット等の維持、管理

3-2 点灯期間中

- (1) 対象エリアに設置したフォトスポット等及び電飾材料等の維持、管理
- (2) 点灯期間中の点検及び故障原因等の調査並びにこれらの報告
- (3) 点灯期間中故障等による造作物等及び電飾材料等の補修
※発注者から造作物等の損傷・損壊及び電飾材料の不点灯（規模は問わない。）等の連絡があった場合は、直ちに当該場所へ赴き、造作物等の補修及び電飾材料が点灯可能になるよう補修を行うこと。
なお、補修作業の完了が、連絡のあったその日の内に完了できない場合は、発注者に対し、当該理由及び補修完了時期を報告すること。
- (4) 広報用素材としての各対象エリア、造作物等の写真撮影、デジタルデータの提出
※提出されたデータの著作権は全て発注者に無償譲渡され、発注者が自由に使用できることとする。撮影日時については、発注者と受注者が協議し、決定すること。

3-3 点灯期間終了後

- (1) 事業終了に伴う電力会社との契約の解約

- (2) 使用した電飾材料及び造作物等の撤去並びに発注者が指定する場所への運搬、整理
- (3) 使用した電飾材料及び造作物等の点検及び補修
- (4) 発注者所有の電飾材料等の所有リストの作成、提出

4 イルミネーション点灯期間等

- (1) 点灯期間 2022年11月19日(土)から2023年3月12日(日)まで
- (2) 点灯時間 17時30分から原則24時00分まで
(12月31日は、翌1月1日午前5時まで点灯)

※2022年11月19日は、点灯式のため18:30に点灯

※点灯時間は設置場所によって短縮する場合がある為、発注者と協議の上、対応すること。

5 対象エリア(門司港レトロ地区)



- (1) 樹木 150本程度 (2021年:147本)

※三井倶楽部周辺の植え込みに関しては、受注者はネット等を購入し、電飾材料を取付のうえ設置すること。また、使用後は発注者に購入物品を帰属させるものとする。

- (2) 来場者が楽しめるフォトスポットを、以下の場所に設置すること。

- ① プレミアホテル門司港付近(北側): ハートのスポットライト2ヶ所

※うち1ヶ所は展望室からマークを確認できること



← イメージ写真(上部:展望室側)

②旧門司税関そば：「MOJIK♡」の文字型モニュメント設置1ヶ所



← イメージ写真（上部（奥）：跳ね橋側）

③大連友好記念館前（中央広場側）：「♡」マークのスポットライト投影1ヶ所



← イメージ写真（右側：大連友好記念館）

④ブルーウィングもじ（ホテル側）：ハート型ライトの設置1ヶ所



⑤大連友好記念館横庭園：ビーズボールを使用した新規フォトスポット1ヶ所



← イメージ写真（左側：大連友好記念館）

6 留意事項・条件等

6-1 設置・撤去

- (1) 設置に必要な電飾材料等については、原則として、発注者が所有する資材（支給品数量一覧参照）を利用し、フォトスポットを含む電飾設置業務に必要な電飾材料（電線・ケ

ーブル等含む)等が不足する場合は、発注者と協議すること。

なお、新たなフォトスポット設置等に伴い受注者側が電飾材料等を準備した場合は、当該業務終了後、その電飾材料等は発注者側に帰属するものとする。

- (2) 門司港レトロの夜間景観と調和した集客効果が見込める統一感のあるイルミネーションとすること。また、実施エリアを効率的に回遊できるものとする。
- (3) 樹形に留意した電飾を施すよう工夫し、強風雨に耐えうる取付及び施工方法とすること。
- (4) 道路区域内の樹木は、信号と誤認するなどの交通障害が発生しないよう単色(シャンパンゴールド)のイルミネーションを設置すること。
- (5) イルミネーション設置樹木に協賛プレートを設置すること。(1本1枚、30本程度)
設置方法・位置に関しては発注者と協議の上、決定すること。
- (6) 門司港の夜間景観と調和したフォトスポットを設置し、その装飾、設置位置に関しては発注者と協議の上決定すること。
- (7) 門司港レトロ地区の自然環境(主に強風・強雨)を考慮した設置に留意すること。
- (8) 歩行者への安全面やいたずら等の対応方法について検討し、安全性を確保すること。
- (9) 「イルミネーション点灯式」(11月19日)、「門司港レトロカウントダウン」(12月31日)のイベントの際は、指定時刻に点灯できるように分電盤に人員を配置すること。(タイマー等の設定・調整を行うこと。)
- (10) 装飾作業及び撤去を行う際は、交通誘導員を配置する等の安全対策を講じること。
- (11) 保管している資材は、門司区西海岸一丁目3番3号(関門海峡ミュージアム)より搬送すること。
- (12) 点灯期間終了後は、イルミネーション設置前の状態に復元すること。
- (13) 支給品数量一覧表にある資材についての状況確認を行うこと。イルミネーションは次年度も使用できるものと廃棄すべきものを分類するため、通電状態を確認し報告書を提出すること。また、次年度以降も使用できるものは、発注者が指定する場所に運搬すること。
- (14) 資材の設置・撤去及び事前・事後の状況確認によって発生した廃棄物は、受注者において廃棄すること。
- (15) そのほか、過去にイルミネーションのために使用していた物品等で発注者が指示したものについても、合わせて受注者側での廃棄の対象とすること。

6-2 維持補修

- (1) 電気代、維持管理を含め、イルミネーションの維持補修・調整を行うこと。
- (2) 設置済みのイルミネーション等が自動車交通や歩行者通行等の支障とならないようにすること。
- (3) 漏電・感電等が無いように安全対策を講じること。

- (4) 点灯期間中は、玉切れによる消灯等の無いように適宜見回り点検を行い、早急に補修維持管理に努めること。玉切れによる消灯等の連絡を受けた場合も早急に補修すること。
- (5) 設置場所の状況等により、点灯時間前の点灯や点灯時間の短縮などの変更が生じた際は、対応すること。
- (6) 装飾資材の落下、被害等が出ないよう受注者責任のもと、十分に注意して設置を行うこと。また、被害が出た場合に備え、受注者は保険等に加入しておくこと。
- (7) 門司港レトロ地区の自然環境（主に強風・強雨）を考慮した保守点検に留意すること。

6-3 その他

- (1) 道路占有許可・道路使用許可等の条件によっては設置場所等を変更する場合がある。この場合、受注者は直ちに設置場所等を変更すること。
- (2) 設置、撤去作業着手前にスケジュールを作成し、発注者に提出し、承認を得ること。
- (3) 受注者は、業務実施に関係する法令・基準を遵守すること。
- (4) 受注者は発注者に対し、業務の執行状況について随時報告を行うこと。また、発注者が業務の履行に関し、受注者に報告を求めた時には、直ちに応じること。
- (5) その他、イルミネーション設置等に必要な電飾材料等が生じた場合は、発注者と協議すること。
- (6) 雨天時や突発的なトラブル時の対策など危機管理について配慮し対応すること。
- (7) 本書に定めのない事項について疑義が生じた時は、発注者と受注者が協議して、誠実に解決に努めるものとする。

7 フォトスポットに関する仕様について

5の(2)に記載したフォトスポット設置のための設備は、以下の仕様を満たすこと。

- (1) プレミアホテル門司港付近（北側）：ハートのスポットライト2ヶ所

プレミアホテル門司港のテラスに機器を設置し、投射するものとする。機器の設置に当たっては、デザインや安全対策について同ホテルの意向を踏まえて調整・実施すること。

投射するイラスト（文字等含む）のうち、1つは門司港レトロ展望室からはっきりと確認可能なものとする。



← 昨年度の投影状況

＜白色のハートマーク＞

展望室から視認できるスポットライト

＜ピンク色のハートマーク＞

通常のスポットライト

※どちらも3～4m 四方程度の大きさ

(2) 旧門司税関そば：「MO J I K♡」の文字型モニュメントライト設置1ヶ所

文字型モニュメントは、発注者が所持しているものを使用することとする。

<規格>

「MOJIK」：白色 LED ライト 「♡」：LED ライト/6色以上カラーチェンジするもの
カバー：アクリル板/W350・H350・D350(mm)程度/遮光部木目シートこげ茶色/
文字くりぬき部半透明白色

※電気機器の漏電防止のため、雨が入らないように密閉する。また、照明器具による外見の差異をなくし、昼間の景観を損ねないように配慮する。人が上に登らないように注意書きをする。

(3) 大連友好記念館前（中央広場側）：「♡」マークと「西暦」のスポットライト投影1ヶ所

中央広場側のスペースに投射するものとする。フォトスポットとして一緒に写真を撮れるものとする。

投射するイラスト（文字等含む）の大きさは、地面に対して3～4m程度とすること。

(4) 大連友好記念館前広場（中央市場側）：ハート型ライトの設置

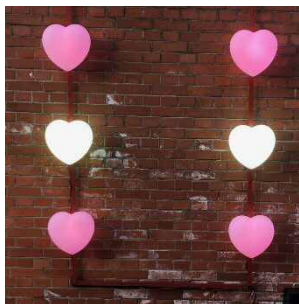
<規格>

ハートライト（LED ライト）/W300・H300(mm)程度

前年度の設置場所：大連友好記念館裏駐車場（壁全体の高さ：280 cm程度）

※設置場所が変更となるため、固定用金具の調整等を別途行うこと。

（前回設置場所の様子）



（今回設置予定場所）



⇔の高さ
105 cm

(5) 大連友好記念館横庭園：ビーズ in ボールを使用した新規フォトスポット1ヶ所

大連友好記念館横の庭園の小道付近を中心に、ビーズ in ボールを使用したライトアップを行うこと。イメージは以下画像の通り。



<規格>

新規のフォトスポットに使用する物品は以下の通り。

受注者は当該物品を購入すること。また、使用後は発注者に物品を帰属させるものとする。

品名	ボウルジュエルライト スティック
品番	24VB90S75S5
カラー	ウォームホワイト
コード色	ブラックコード
重量	約1.6kg
球数	5灯／1,000球
消費電力	13.5W
連結数	不可
備考	電源トランス別売

※5 灯/セット×7 セット

品名	24V60Wトランス
品番	24VTRANS60W
サイズ	全長約 198cm
重量	約 520g

※7 セット

8 提出書類

以下に示す書類を提出するものとする。提出時期については各項目の作業等が完了した後に速やかに提出するものとする。

下記表の提出書類のうち、「10」「11」「12」については廃棄物処理が必要になった場合のみ提出するものとする。

■提出書類一覧

	提出書類名	提出時期
1	搬出資材点検報告書	資材搬出後
2	搬出資材明細書(品名・数量等)	資材搬出後
3	材料使用願い	現地搬入前
4	品質管理 絶縁抵抗測定値	設置完了後
5	施工状況写真帳	施工完了後
6	九州電力株式会社臨時電灯・電力申込書(写し)	点灯時迄
7	広報用写真デジタルデータ(CD)	点灯後
8	返納資材明細書	返納後 7 日以内
9	維持管理点検記録簿	返納後 7 日以内
10	処分資材報告書	返納後 7 日以内
11	産業廃棄物マニフェスト(写し)	返納後 7 日以内
12	産業廃棄物計量伝票	返納後 7 日以内
13	運営管理体制及び緊急連絡網	契約後 14 日以内
14	業務計画書・配置図、演出内容、デザイン図、安全対策	契約後 14 日以内

■支給品数量一覧表（昨年度使用在庫含む）

名称	種別・形状	保管数	単位
臨時用木柱	木柱 GL-6m	5	本
架線用中間柱	木柱 GL-5m	7	本
電線・ケーブル	CV-14mm x 3c	20	m
電線・ケーブル	CV-8mm x 3c	35	m
電線・ケーブル	DVR-2.6mm-3c ※1 本あたりの長さはまちまちで、延べ 620m 分あります。	620	m
仮設盤	漏電ブレーカー内臓型	2	個
臨時用分電盤	タイマー・電磁接触器内臓	8	個
樹木プレート	協賛企業名記載プレート(20cm×20cm 以内) ※プレート自体は、実行委員会が作成したものを支給します。 その年のイルミネーション業務終了後、他のものとまとめて廃棄してください。	約 30	枚
イルミネーション	100 球・10m(LED)カラーキャップ無し(3 穴) (内訳)ソケットの形状等の違いにより、 ・749 セット ・191 セット	940	セット
イルミネーション	電源接続キット(3 穴)	346	本
イルミネーション	100 球・10m(LED)カラーキャップ無し(2 穴) (内訳)ソケットの形状等の違いにより、 ・743 セット ・392 セット	1,135	セット
イルミネーション	電源接続キット(2 穴)	138	本
フォトスポット用 イルミネーション	文字型モニュメントライト (MOJIK♡ オブジェ)	1	セット
フォトスポット用 イルミネーション	ハート型ライト	6	個

以 上